

名取市立関上中学校

2014年 12月 8日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

- (1) 『名取市における東日本大震災の記録』名取市震災記録室 <http://www.city.natori.miyagi.jp/soshiki/soumu/311kiroku/index/higai/gaiyou>
- (2) 『津波迫る「3階に上かれ」= 剣道着やカーテン、避難者に一海辺の中学、緊張の一夜』時事通信 3月12日(土)16時58分配信

【場所】

海岸から約1.6km、名取川から約400mの位置にある。
住所:宮城県名取市関上五十苅1
※現在は別の場所で仮校舎で再開。



【東日本大震災による被害】

津波により地盤から1.87m浸水。(1)

【震災当日の様子】

地震発生時、卒業式が終わり生徒は下校していた。近隣住民が続々と避難してきたため、教室を片付けて受け入れを始めた。やがて、津波が到達し、校舎の最上階へ避難した。
一方、卒業生は学校から200mほど離れた関上公民館で謝恩会を開いており、その最中に地震が起こった。最初は公民館(2階建て)の2階に避難していたが、3階のある関上中学校へ再避難することになり、学校へ向かう途中で津波が到達したためこの地区では200人以上が亡くなり、生徒も14人亡くなっている。(2)

【調査して言えること】

学校の標高は約2mで、海からは約1.6km、一級河川である名取川から約400m離れた位置にある。海から距離はあるが、標高が低いので、地震の際には津波を警戒する必要がある学校である。
学校の周囲には高台が無く、高い建物もほとんどないため、学校外への避難は難しい。今回の津波で浸水していない、学校の標高よりもやや高い地域からも約3km近く離れている。そのため、現在でも校舎は津波緊急避難場所に指定されており利用されている。



東から見た学校(2014/11/1撮影)



学校北側の道路にある津波緊急避難場所の標識(2014/11/1撮影)